

南海トラフ地震対策の強化に向けて、新たな南海トラフ地震被害想定をふまえつつ、県民一丸となって地震に対応するための「三重県南海トラフ地震対策推進条例（仮称）」の制定に向けた検討を進めるとともに、市町における避難所の環境改善や、津波避難タワー等の整備促進などに引き続き取り組みます。

## 防災対策の強化

### ① 地域減災対策推進事業（防災対策部）

401,489千円

- 「いのちを守る防災・減災総合補助金」による財政支援の強化を通じて、特にスフィア基準をふまえた避難所の環境改善や、新たな南海トラフ地震被害想定をふまえた対応などの市町の防災・減災対策を促進

避難所環境改善事業枠を倍増  
(R7:4千万円⇒R8:8千万円)



避難所環境改善

- 市町による津波避難タワーや衛星通信設備の整備などの防災対策の取組を支援
- 停電時でも稼働可能な避難所における空調設備の整備に取り組む市町に対して引き続き支援



津波避難タワー（紀宝町）

### ②（一部新）地震対策推進事業（防災対策部）

52,604千円

- 新** 県民一丸となって地震に対応するための「三重県南海トラフ地震対策推進条例（仮称）」の制定に着手
- 新** 南海トラフ地震が発生した際に、国や他都道府県等からの支援を円滑に受け入れるため「三重県広域受援計画」を改定
- 津波に対する危機意識を高め、津波からの避難対策をさらに強化するため、関係市町と連携しながら津波災害警戒区域を指定

### ③（一部新）地域防災力向上支援事業（防災対策部）

28,801千円

- 新** 市町内で避難者を全て受け入れられない場合の域外への避難体制の構築と、スフィア基準を満たす居住スペース等の確保に向けて、広域避難計画を策定

### ④（一部新）広域防災拠点維持管理（防災対策部）

46,870千円

- 新** 南海トラフ地震等の災害時に円滑かつ迅速に被災地支援ができるよう、広域防災拠点の施設改良を実施

### ⑤（一部新）防災ヘリコプター運航管理（防災対策部）

700,547千円

- 新** 大規模災害時の代替のヘリベースとして使用を想定している「三重交通G スポーツの杜 鈴鹿」において、空路からの支援に必要な航空機燃料の貯蔵庫および給油設備を設置

### ⑥（一部新）「みえ防災・減災センター」事業（防災対策部）

25,075千円

- 新** 新たな南海トラフ地震被害想定を理解を深め、市町のトップに求められる災害時のリーダーシップを高めるためのトップセミナーや、新たな被害想定周知や対策を促すための県民向けのシンポジウムを開催

### 災害医療体制の整備

⑦ (一部新) 災害医療体制強化推進事業 (医療保健部)  
63,109千円 (2月補正を含む額 215,109千円)

● 患者搬送の一次集約先としての役割を担う災害拠点病院の機能強化を図るため、患者搬送車両の整備に要する経費を支援するとともに、搬送体制見直しの検討を行う

● DMATコーディネーター資格の取得・更新について、研修参加等に係る交通費・宿泊費を補助

● 三重県を被災地の一部と想定した大規模地震時医療活動訓練を実施

● 発災時における関係機関等との連携体制を確保するため、通信設備を整備



### 災害時の暮らしの安全

⑧ (一部新) 外国人住民の安全で安心な生活への支援事業  
(一部) (環境生活部) 6,868千円

- ・外国人住民が、災害等の緊急時において、共助の担い手(支援する側)として活動してもらえよう、外国人防災リーダー育成研修や避難所運営訓練を実施
- ・「みえ災害時多言語支援センター」について、設置・運営に係る図上訓練を実施

### 自助・共助の取組の促進強化

⑨ 木造住宅耐震対策促進事業費 (県土整備部)  
216,045千円

・安全で安心な住まいやまちにするため、倒壊の可能性の高い旧耐震基準の木造住宅の所有者に対して、補強工事費や除却工事費の補助等を実施

除却工事の県の補助上限額を  
5,175万円→10万円に拡充

梁・柱部分に設置された補強金物



⑩ 地域減災対策推進事業 (防災対策部)  
401,489千円【再掲】

・住宅の倒壊から県民の命を守るため、市町による耐震シェルターの設置助成制度の取組に対して引き続き支援



耐震シェルター (イメージ図)

### 安心・安全な観光地づくり

⑪ (一部新) 安心・安全な観光地づくり事業 (観光部)  
5,000千円

- インバウンドを含めた旅行者に安心・安全な観光地として選ばれるため、インバウンド向けに災害時の対応や情報収集の方法等を記載した多言語リーフレットを作成
- 観光事業者に向けて、災害時のインバウンドへの適切な対応や災害への備え等に関するセミナーを開催

### 河川・砂防

⑫流域治水事業（県土整備部） 12,554,654千円  
（12月補正その2、2月補正を含む額 19,210,864千円）

- ・治水安全度の向上を図るため、河川改修等を実施
- ・鳥羽河内ダムの本体工事の推進
- ・大型水門等の耐震対策を実施
- ・流域全体で水害を軽減させる治水対策「流域治水」の着実な推進
- ・河川や砂防えん堤の堆積土砂撤去・樹木の伐採を、関係市町と優先度を検討しながら、連携して実施



鳥羽河内ダム（鳥羽市）



河川の堆積土砂撤去（海蔵川（四日市市））

⑬土砂災害防止対策事業（県土整備部） 3,294,842千円  
（12月補正その2、2月補正を含む額 5,385,852千円）

- ・砂防えん堤や擁壁等の土砂災害防止施設の整備を実施



### 港湾・海岸

⑭港湾事業（県土整備部） 1,088,588千円  
（12月補正その2、2月補正を含む額 1,120,088千円）

- ・港湾施設の定期点検・補修の実施
- ・岸壁・物揚場等の老朽化対策の実施
- ・岸壁の耐震対策の実施



鳥羽港 耐震強化岸壁の改修（鳥羽市）

⑮高潮等対策事業（県土整備部） 2,529,342千円  
（12月補正その2、2月補正を含む額 3,786,842千円）

- ・堤防等の高潮・侵食対策、耐震対策、海岸堤防強靱化対策を実施



宇治山田港海岸 高潮・侵食対策事業（伊勢市）

⑯インフラメンテナンス（河川・砂防・海岸）事業（県土整備部） 1,850,569千円  
（12月補正その2、2月補正を含む額 2,978,968千円）

- ・河川、海岸、土砂災害防止施設の老朽化対策の実施

### 道 路

#### ⑰直轄道路事業（県土整備部）

10,238,006千円  
（12月補正その2、2月補正を含む額  
12,812,509千円）

- ・地方創生や防災・減災、国土強靱化に資する幹線道路ネットワーク構築・機能強化を促進



熊野道路

#### ⑱道路改築事業（県土整備部）

8,826,374千円  
（12月補正その2、2月補正を含む額  
10,968,895千円）

- ・高速道路と国管理の国道を補完する災害に強い県管理道路ネットワークの整備や、観光振興に向けたアクセス道路の整備を推進



一般国道368号  
（伊賀名張拡幅Ⅰ工区）

#### ⑲緊急輸送道路等機能確保事業

（県土整備部） 8,367,862千円  
（12月補正その2、2月補正を含む額  
11,825,703千円）

- ・災害発生時に対応できる輸送機能を確保するため、緊急輸送道路に架かる橋の落橋や倒壊対策、洪水で橋が流されない対策、道路の土砂崩れ対策、車両のすれ違いが困難な箇所の道幅の拡幅を推進



橋梁の落橋・倒壊対策

#### ⑳インフラメンテナンス（道路）事業

（県土整備部） 1,850,457千円  
（12月補正その2、2月補正を含む額  
5,198,994千円）

- ・老朽化が進行する橋梁、トンネル等道路施設の計画的な点検を実施するとともに、効果的・効率的な修繕を推進

#### ㉑街路事業（県土整備部）

1,795,061千円  
（12月補正その2、2月補正を含む額  
2,378,527千円）

- ・電柱倒壊による社会的影響が大きい市街地等の緊急輸送道路において、無電柱化を推進



電線類地中化

### 農林水産

#### ㉒県営ため池等整備事業（農林水産部）

1,393,500千円  
（12月補正その2、2月補正を含む額  
3,687,500千円）

- ・農業用ため池の決壊等による被害を防止するため、耐震性能不足や老朽化した農業用ため池等の整備を実施



砂方池（御浜町）

#### ㉓治山事業（農林水産部）

3,580,195千円  
（12月補正その2、2月補正を含む額  
3,733,195千円）

- ・災害に強い森林づくりに向け、山地災害の防止を図る治山施設の整備を実施
- ・公益的機能が低下した保安林の整備を実施



治山ダム（松阪市）

#### ㉔県営漁港施設機能強化事業（農林水産部）

247,530千円  
（12月補正その2、2月補正を含む額  
751,530千円）

- ・高潮・波浪・津波による被害を防止するため、防波堤の嵩上げや耐震・耐津波対策を実施



波切漁港（志摩市）